

先週の回答



「捨て子だったって、誰が?」
 「あんだよ。橋の下から拾ってきたのよ」

「まさか!」
 「まさかって坂はないのよ」
 「って、何で今までだまっていたの、お母さん」

「きかれなかったからよ」
 「じゃー、あたしの親は誰なのよ!」
 「知らないわよ、落っこつてたんだから、橋の下に」

「どーぞ、粗茶ですけど」
 母は落ち着き払って、人相のよくない二人の客にお茶をすすめた。
 人相のよくない二人は、サラ金の取り立て人。

「ですから、このコの借金はあたくしには何の関係(かかわり)もありませんのよ」と母は、すまして自分のお茶を喫した。

「バーン!」
 「それとーると思ってるのか!」
 テーブルを叩く顔面キズだらけの強面の取り立て人A。

「とーるも、とーらないも、そーなんですから、ほほほ、仕方ございませんでしょう」
 ワツと泣き出す娘。

「ひどい!あたしの真実(ほんとう)の親はどこにいるのよ!」

「見当もつかないわよ、あたくしには」
 「あたしがお母さんの子じゃなかったなんて、急に言われても信じらんない」



「だったら、自分で捜したらいいじゃないの」

「どーやって捜すのよ」

「そーゆーことは、こちらのおふた方に頼んでみたら、人捜しはお上手のようだから」

思いつめた顔で娘は二人の取り立て人にすがりついた。

「おねがい、あたしの両親を捜して」

「そ、そんなヒマはねーよ。忙しいんだよオレたちは。な、な」と相棒に助けを求める。相棒の取り立て人B、静かに、「帰ろー、歯が立たねーよ、こいつらには。グルになって芝居してんだから」

「芝居だなんて、ずーっと、筋書き通りに事が運んで、母は静かにお茶を啜った。」

今週の問題



□の中に漢字を埋めて
四字熟語を完成させてください。